

令和元年度 生駒市環境モデル都市 取組進捗状況

資料5

環境がまちをつくる

環境負荷の低いまちづくり	集合住宅共用部LED化補助金(11月末時点申請件数 15件)
省エネルギーフォーム・リノベーション支援	住宅省エネルギー改修工事補助(建築課)(11月末時点申請件数 19件) 「いこま空き家流通促進プラットフォーム」において、空き家流通促進検討会議を月に1度開催しながら空き家所有者支援を実施(住宅政策室)(11月末時点取扱件数52件(内成約件数:16件)) 既存住宅流通等促進奨励金(住宅政策室)(11月末時点申請件数 3件)
太陽光発電システムの加速度的普及促進・既存設備の有効活用	太陽光発電普及促進事業補助 ・1kWあたり2万円(11月末時点申請件数 28件) 全額市民出資による市民共同発電所(第1号機~4号機)を運営する「市民エネルギー生駒」と連携した取組を実施
燃料電池・コージェネレーションの導入支援	家庭用燃料電池設置補助 ・1件あたり5万円(11月末時点申請件数 96件) 家庭用リチウムイオン蓄電システム設置補助 ・1kWhあたり1万円(11月末時点申請件数 35件)
環境にやさしい移動手段の普及促進	市内の5箇所(市役所、エコパーク21、図書館館、北コミュニティセンター・南コミュニティセンター)に設置された電気自動車用急速充電器を引き続き運用 超小型モビリティ2台の乳児等訪問事業での運用を継続(健康課) ECO-net生駒と協力し作成した自転車利用ネットワークマップ「くるりんいこま」の配布

環境がひとを育てる

家庭でのエコ取組の促進	省エネルギー診断(うちエコ診断)の実施 (11月末時点参加者 45名)
学校・地域への環境出前講座	包括連携協定を締結した近畿大学と連携し、環境イベント「かしこくえらぶおひさまエネルギー」にて大学生と協働で食品ロスがテーマの参加型の環境教育プログラムを実施 NPO団体を活用した体験授業を行う「エコキッズ」事業を実施 国際NGOであるFEEが実施する環境学習プログラム「エコスクール」の取組を継続実施
住民や企業、他都市と連携した取組	欧州連合(EU)が実施する都市間協力事業「IUCプロジェクト」の成果として、ローカルアクションプランをパートナー都市であるイタリア国アンコーナ市と共同で作成

環境が経済を循環させる

「いこま市民パワー」を基軸とした経済の循環	平成29年に設立された地域新電力会社「いこま市民パワー株式会社」による電力供給を継続 令和元年4月、市域の剪定枝等を利用したバイオマス発電を行う事業者から再生可能エネルギーの調達を開始。いこま市民パワー株式会社の再生可能エネルギー比率が向上(10月末時点再エネ比率 9.6%)
各種EMS導入支援	住宅用エネルギー管理システム(HEMS)設置補助 ・1件あたり上限1万円(11月末時点申請件数 17件)
地産地消サイクル構築に向けた取組	フードドライブを「環境フェスティバル」「かしこくえらぶおひさまエネルギー」等のイベントで実施(11月末時点回収量 61.9kg 267点 26人)